



図書館だより

1月号

令和5年1月23日
横浜市立山田小学校
図書担当：渡邊雄貴
学校司書：村山浩子

★毎月23日は市民読書の日です★図書館だよりはおうちのひとといっしょに読みましょう。

節分(せつぶん)ってなに?

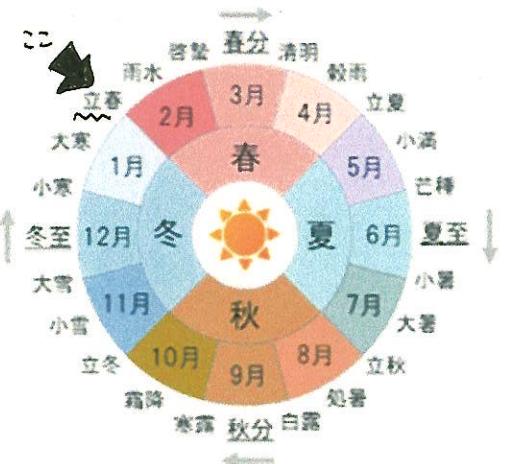
12月号で、「正月は伝統的なものにふれてみよう」と
書きました。もう少しで「節分」ということで、今回も
図書館の本から日本の伝統行事を紹介します。

★せつぶん きせつ 節分は季節のかわりめごとに4回ある

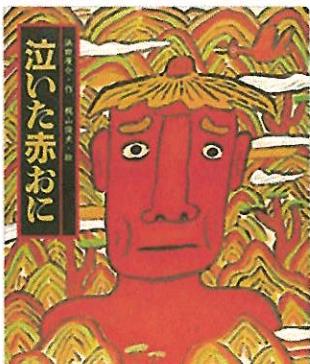
もとは、各季節のはじまりとされる「立春・立夏・立秋・立冬」の前の日を節分とよびました。昔の考えでは立春がその一年の始まりとされたので立春前日（今年は2月3日）をとくに大切にしたのです。

★豆まきは邪氣(じゃき)をはらう大みそかの行事から

もともとは、宮中でおおみそかに「邪氣（病気やわざわいをもたらす気）をはらう」行事が行われていましたが、やがて豆まきが行われるようになり、一般の人々にひろまつたのは江戸時代ごろからとされています。豆は「神様の力がやどる作物」とされ、いった大豆（だいす）をまきました。いまは落花生をまくところも多いようです。（「ポプラディア情報館・年中行事」より）
…ちなみに、切らずに食べる太いのりまき「恵方巻」はもとは西日本の習慣だそうです。



今月のおすすめ本スペシャル2本立て：鬼の絵本



「泣いた赤おに」 はまだひろすけ 浜田廣介・作 かじやまとしょく 梶山俊夫・絵 かいせいしや 偕成社

赤おに、青おにのやさしさやかなしみが胸をうつ…いまから90年も前に
書かれた童話ですが、いまでも世代をこえて愛されています。

最後の青おにのともだちを思う心に赤おにだけでなく、読んでいる私たち
まで泣かされます。さし絵も最後の一枚までしっかり見て、いろいろ考えを
めぐらせてください。

「オニじゃないよおにぎりだよ」

シゲタサヤカ・作 えほんの杜

泣いたあとは、お人よしでちょっぴりマヌケなオニの話で笑いましょう。
とぼけたオニたちの顔もおもしろいし、背景のこまかいところにもクスッと笑える小ネタがたくさん。そして人間においしいおにぎりを教えたい
オニたちの作戦は衝撃（笑撃？）的です。読んだ人はネタバレ禁止ですよ。



図書館利用状況 12月21日～1月20日（11日間）

来館者（休み時間）375人 貸し出し数（授業中含む）507冊【1日平均34人/46冊】

図書委員会スタンプラリーは31日までやっています！

「これを始めてから、いろんな本を読むようになったよ」

先週、休み時間にきた人が言ってくれた言葉はとびあがるほどうれしいものでした。『いろいろな本を楽しくたくさん読んでほしい』という図書委員のねがいが伝わった！と思ったからです。

あと1週間、できるところまでチャレンジしてほしい…そこで、質問が多い課題の「ファンタジーの本」についてすこし特集します。

ファンタジーってどんなもの？

「現実にはない、空想の場所や登場人物がでてくる」「まほうつかい、妖精、あくま、などがでてくる」ものなら、まずファンタジーといつていいでしょう。そう、図書館はファンタジーの本でいっぱいです。山田小にある本の一部をあげてみます。（★は外国の作品 ☆は日本の作品）

★アナと雪の女王（エリカ・デヴィッド作 角川つばさ文庫）

おなじみ、「アナ雪」です。ほかにもディズニーの小説は「リトルジーニー」「スティッチ」など何冊かありますが、みんなファンタジーと言っていいでしょう。

★ハリー・ポッター シリーズ（J・K・ローリング作 静山社）

魔法学校でのハリーの成長、仲間との友情、宿敵「名前を言ってはいけないあの人」との対決など見どころがたくさんあります。低学年には1、2巻がおすすめです。

★ダレン・シャン シリーズ（ダレン・シャン作 小学館）

友を救うためにバンパイア（吸血鬼）になってしまった少年のお話。すこしこわい話が好きな人に人気。本当にあった自分の話として書いているから作者と主人公の名前が同じなのです。

★その他 ナルニア国物語（C・S・ルイス 岩波少年文庫） ゲド戦記（ル・グウィン 岩波少年文庫）

☆精霊の守り人シリーズ（上橋菜穂子 偕成社）※他に「獣の奏者」「鹿の王」「香君」など

日本ファンタジーの第一人者と言つていい上橋さんの作品は、大人にも人気が高く山田小にも先生のファンが多いです。現実ではない異世界に引き込まれるような感覚で読めます。

★シェーラひめのぼうけん（村山早紀 童心社）...イチ押し

図書委員に教えてもらって読み、夢中になりました。

石になった都をたすけるため、仲間と旅をしながら、魔法をとく宝石をさがして悪い魔法使いと戦うお姫さまの語…よくある話に見えるけれど、おもしろいのです。主人公の姫はかわいいのに、ゾウをかついで足にささったトゲをぬいてあげるような力持ち！魅力のあるキャラクターがたくさんいて、しかも低学年にも読めそうなところがおすすめです。

♡絵本もファンタジーの宝庫です。こまつたら声をかけてください。

